

多様な話し合いの場と環境づくり

【令和3年度の取組内容】

- ・コロナ禍においても地域の話し合いを継続するため、感染症対策への基礎交付金の有効活用策や会議の継続方法については、随時資料提供等を行いながら、アドバイスを継続している。
- ・まちづくり推進課と各総合支所地域づくり担当者相互で、地域支援体制の連携強化を図り、毎月定例のオンライン会議で支援情報の共有を図り、連携支援につなげる体制整備を行っている。
- ・協働のまちづくり研修会を11月9日（火）12月2日（木）の2回開催。若手職員を中心に話し合いの手法を調査研究した。
- ・地域計画策定支援として、各地域に出向いての支援を行っている。（WS支援を含む）
- ・大崎市地域自治体制整備実証事業検証を進め、新たな地域自治組織支援の体制整備を検証。
- ・令和3年度内に高校生タウンミーティングを予定。

【今後の見通し】

- ・各種支援体制を引き続き継続し、新たに、持続可能な地域自治組織の支援の在り方を調査・研究することで、市民のまちづくりの参加意識を高めるため、話し合いの場づくりと環境づくりを推進する。